

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドテック

コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 鉄平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 五十嵐 英

TEL 03-5427-6901

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,078	107.3	14	—	18	—	3	—
26年3月期第2四半期	1,002	—	△35	—	△34	—	△36	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.36	—
26年3月期第2四半期	△4.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	1,624	994	61.2	117.75
26年3月期	1,665	991	59.5	117.38

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 994百万円 26年3月期 991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,892	19.7	52	395.2	57	270.9	17	228.4	2.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,448,484 株	26年3月期	8,448,484 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	300 株	26年3月期	300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,448,184 株	26年3月期2Q	8,448,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、有効求人倍率が引き続き1倍を超え、失業率も低い水準で推移するなど、全体としては回復傾向にありましたが、消費税増税による特需の反動を受けて個人消費が低迷したことに加えて、9月に入って急激な円安により輸入価格が上昇するなど、今後の景気動向につきましては予測が難しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、メモリ事業においてはパソコンの出荷台数減少に加え、9月以降の円安に伴い原材料の輸入価格が上昇したことで、売上・利益の伸びが緩やかになってきております。加えて、個人消費の鈍化により、前期から参入いたしましたコンテンツ事業においても期初の見込みを下回るなど、先行き不透明な状況となっております。

こうした状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,078百万円（前年同期比107.3%増）、営業利益は14百万円（前年同期は35百万円の営業損失）、経常利益は18百万円（前年同期は34百万円の経常損失）、四半期純利益は3百万円（前年同期は36百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

当社グループは、前第3四半期連結会計期間に株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間以降は、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の三つの報告セグメントとしております。

① メモリ製品製造販売事業

メモリ製品製造販売事業においては、パソコン出荷台数の減少により、7月以降は売上の伸びが鈍化しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,845百万円（前年同期比87.9%増）、営業利益は11百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

② ウェブソリューション事業

ウェブソリューション事業においては、損益面では改善しつつあるものの、いまだ外注加工費の負担が大きく、当第2四半期連結累計期間の売上高は17百万円（前年同期比11.7%減）、営業損失は4百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

③ コンテンツ事業

コンテンツ事業においては、当第2四半期連結累計期間の売上高は215百万円、営業利益は6百万円となりました。

なお、コンテンツ事業は前第3四半期連結会計期間に追加したため、前期比較はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,372百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金が674百万円、受取手形及び売掛金が400百万円、商品及び製品が158百万円となっています。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は252百万円となりました。

主な内訳は、有形固定資産が12百万円、のれんが203百万円となっています。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は548百万円となりました。

主な内訳は、買掛金が114百万円、短期借入金が350百万円となっています。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は81百万円となりました。

主な内訳は、長期借入金が43百万円となっています。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は994百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	519,323	674,603
受取手形及び売掛金	535,612	400,412
商品及び製品	166,266	158,025
仕掛品	37,090	30,133
原材料	91,525	75,013
その他	39,127	37,010
貸倒引当金	△2,939	△2,611
流動資産合計	1,386,007	1,372,587
固定資産		
有形固定資産	14,480	12,830
無形固定資産		
のれん	228,561	203,577
その他	3,912	3,517
無形固定資産合計	232,473	207,095
投資その他の資産		
その他	96,587	96,335
貸倒引当金	△64,193	△64,100
投資その他の資産合計	32,394	32,234
固定資産合計	279,347	252,160
資産合計	1,665,355	1,624,747
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,398	114,974
短期借入金	250,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	8,004	8,004
未払法人税等	6,081	17,706
賞与引当金	5,197	4,436
返品調整引当金	13,569	11,841
その他	25,257	41,059
流動負債合計	586,508	548,022
固定負債		
長期借入金	47,317	43,315
退職給付に係る負債	15,871	17,253
資産除去債務	2,892	2,920
その他	21,055	18,445
固定負債合計	87,137	81,934
負債合計	673,645	629,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	297,735	297,735
利益剰余金	△6,001	△2,919
自己株式	△24	△24
株主資本合計	991,709	994,790
純資産合計	991,709	994,790
負債純資産合計	1,665,355	1,624,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,002,720	2,078,967
売上原価	908,402	1,868,425
売上総利益	94,318	210,542
販売費及び一般管理費	129,971	195,589
営業利益又は営業損失(△)	△35,653	14,952
営業外収益		
受取利息	68	58
受取配当金	254	-
債務勘定整理益	-	2,458
受取出向料	-	4,440
雑収入	1,470	1,748
営業外収益合計	1,793	8,705
営業外費用		
支払利息	277	1,326
為替差損	724	4,103
雑損失	15	51
営業外費用合計	1,016	5,482
経常利益又は経常損失(△)	△34,876	18,176
特別利益		
貸倒引当金戻入額	200	81
特別利益合計	200	81
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△34,676	18,258
法人税、住民税及び事業税	1,760	16,290
法人税等調整額	△294	△1,113
法人税等合計	1,465	15,177
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,141	3,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,141	3,081

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	△36,141	3,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	-
繰延ヘッジ損益	△1,425	-
その他の包括利益合計	△1,572	-
四半期包括利益	△37,714	3,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,714	3,081
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△34,676	18,258
減価償却費	7,403	4,044
のれん償却額	1,000	24,983
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△748	△338
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,598	△760
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△756	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	1,381
返品調整引当金の増減額(△は減少)	-	△1,727
受取利息及び受取配当金	△323	△58
支払利息	277	1,326
為替差損益(△は益)	△29	△72
売上債権の増減額(△は増加)	△138,572	135,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,881	31,710
仕入債務の増減額(△は減少)	143,861	△163,424
未収入金の増減額(△は増加)	△17,641	2,627
前渡金の増減額(△は増加)	86,633	△1,479
未払費用の増減額(△は減少)	△16,187	△3,626
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,513	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	-	15,519
その他	△1,857	△128
小計	32,612	63,435
利息及び配当金の受取額	323	33
利息の支払額	△277	△1,039
法人税等の支払額	△3,340	△4,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,317	57,709
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,995	△350
貸付金の回収による収入	-	1,995
敷金及び保証金の差入による支出	△105	-
敷金及び保証金の回収による収入	1,874	-
事業譲受による支出	△15,000	-
その他	△405	△144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,631	1,500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	100,000
長期借入金の返済による支出	-	△4,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	95,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	72
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,716	155,280
現金及び現金同等物の期首残高	647,138	519,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	660,854	674,603

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	メモリ製品製造 販売事業	ウェブソリューション事業	コンテンツ事業	小計		
売上高						
外部顧客へ売上高	982,346	20,373	—	1,002,720	—	1,002,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	493	—	583	△583	—
計	982,436	20,866	—	1,003,303	△583	1,002,720
セグメント損失(△)	△27,534	△8,118	—	△35,653	—	△35,653

(注) セグメント損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	メモリ製品製造 販売事業	ウェブソリューション事業	コンテンツ事業	小計		
売上高						
外部顧客へ売上高	1,845,569	17,993	215,403	2,078,967	—	2,078,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,845,569	17,993	215,403	2,078,967	—	2,078,967
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	11,611	△4,759	6,301	13,152	1,800	14,952

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額1,800千円には、セグメント間取引1,800千円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結会計期間に株式会社ティームエンタテインメントを買収いたしました。これに伴い、前第3四半期連結会計期間以降は、「メモリ製品製造販売事業」「ウェブソリューション事業」「コンテンツ事業」の三つの報告セグメントとしております。